

緊急時の心肺 蘇生法を学ぶ

平田建設が
普通救命講習

【帯広】平田建設（本社・士幌）は2日、士幌消防署で普通救命講習を受講した。写真。長谷川雅毅社長をはじめ19人が参加し、緊急時の心肺蘇生法を学んだ。4日も同社の社員16人が受講し



た。

8月29日にAEDを社内設置した。その使用方法を学び、非常時に迅速、的確な行動が取れるよう社員教育の一環として実施した。

講習は3時間で、同消防署の救急救命士3人から指導を受けた。応急手当の重要性を座学で学んだ後、救助者の反応の確認、119番通報から胸骨圧迫法、人工呼吸法のほか、AEDの使い方を入形を使いながら体得した。

同社の長谷川社長は、地域や現場で有事の際「一秒でも早く処置できるよう受講した。救急に対する意識も高まる」と話していた。